

## 平成30年度第3回墨田区地域包括支援センター運営協議会報告書

## 1 日時

平成31年3月25日(月) 午後2時30分から午後4時00分まで

## 2 場所

墨田区八広はなみずき高齢者支援総合センター 多目的室1

## 3 議題

- (1) 平成31年度高齢者支援総合センター・高齢者みまもり相談室重点事業計画(案)について
- (2) 平成31年度高齢者支援総合センター委託料内訳(案)について
- (3) 平成30年度墨田区地域ケア会議実施報告について
- (4) ぶんか福祉総合型地域包括支援センターの整備について
- (5) 平成31年度墨田区地域包括支援センター運営協議会の開催予定(案)について
- (6) 連絡事項

## 4 出席者

## 【墨田区地域包括支援センター運営協議会】

氏名	所属・役職	出欠
鏡 諭	淑徳大学教授	出席
成 玉 恵	千葉県立保健医療大学	出席
山 室 学	墨田区医師会	出席
松 田 浩	本所歯科医師会	出席
北 總 光 生	向島歯科医師会	出席
堀 田 富士子	東京都リハビリテーション病院	出席
古 畑 元 資	東京都柔道整復師会墨田支部	欠席
鎌 形 由美子	墨田区民生委員・児童委員協議会	出席
植 竹 香 苗	墨田区特別養護老人ホーム施設長会	出席
栗 田 陽	墨田区社会福祉協議会事務局長	出席
濱 田 康 子	すみだケアマネジャー連絡会	出席
青 柳 吉 季	墨田区訪問介護事業者連絡会	出席
佐 藤 和 信	第1号被保険者	出席
廣 田 栄 子	第1号被保険者	出席
村 山 厚 子	第1号被保険者	出席
青 木 剛	墨田区福祉保健部長	出席

会長 副会長

以上15名出席

## 【事務局その他】

福祉保健部副参事(介護・医療連携調整担当)、高齢者福祉課長、障害者福祉課長、介護保険課長、高齢者福祉課係長・主査5名、障害者福祉課係長1名、介護保険課主査1名

## 【高齢者支援総合センター】

9名

## 5 議事要旨

### (1) 平成31年度高齢者支援総合センター・高齢者みまもり相談室重点事業計画(案)について

事務局が資料1を用いて墨田区高齢者支援総合センター・高齢者みまもり相談室事業実施方針について説明を行った後、各高齢者支援総合センターの事業計画について資料2-1~9を用いて説明を行った。

委員：資料2の各センターの新規相談件数について、平成29年度(3月時点)と平成30年度(12月時点)の比較で、15%を超える減少となっているセンターが複数あった。なりひら高齢者支援総合センターは40%の減だが、何か理由があるのか。

なりひら：今年度は継続している相談に重点的な案件があり、新規相談者が少なかった、という傾向であった。

会長：ほかのセンターはいかがか。

むこうじま：平成30年度(2月時点)のむこうじま高齢者支援総合センターの新規相談件数は847件であったので、年度末には、前年度実績の879件と同程度の件数になると思われる。

委員：資料2-4の実態把握について、2,000件を目標に訪問するとのことだが、もう少し具体的に伺いたい。

なりひら：実態把握のための訪問2,000件については、今年度は介護予防の観点から、70代の高齢者宅を中心に行いたいと考えている。その中で、必要な方に介護予防の活動参加の働きかけをして、実際に活動に参加する際は、生活支援コーディネーターが同行し、定着支援を図っていきたい。こちらは、月10件程度として、年間120件の働きかけを想定しているものである。

委員：高齢者や認知症の方の交流・通いの場の設置には苦慮されていることと思うが、資料2-2の中で、みどり高齢者支援総合センターの交流・通いの場の数が、平成29年度(3月時点)36か所から、平成30年度(12月時点)18か所と大きく減っている。なかなか増やすことは難しいと思うが、この理由はどういったことか。

みどり：後ほど、調べて御報告したい。

#### (報告)資料2-2 交流・通いの場の数について

交流・通いの場については、区公式ホームページ上で公開するための登録作業を行っており、30年12月現在の登録件数18件で報告していた。31年4月現在の実数は43か所と増加している。

委員：機能強化(基幹型)についてお聞きしたい。

一つは、後方支援。月例の11会議体について、それぞれ、どのくらいの規模や頻度で、どういったメンバーが出席するものか。

また、後方支援の内容としては、資料2-2～2-9の各センターの第7期計画施策（全センター共通）にある、事業1～6についての会議や事業実施についてのフォロー、サポートを行う役割であるという理解でよろしいか。

機能強化（基幹型）：まず、月例の11会議体についてお答えする。センターが実施する事業等に係る様々な会議のうち、例えば、ケアマネジャー支援のための会議、介護予防に関する会議、センター・相談室と区側の定期連絡会等、11会議体において企画・運営に携わったり、専門職として助言や提案をしたり、ファシリテーターの機能を発揮したり、という役割を担っている。会議体の規模については、同じ会議体でも、その回のテーマ・議題により出席者数が変わるものもあり、一概に言えないが、5人程度のものから20人以上のものまである。メンバーは、センターの職員や、事業の関係団体の方、区職員等であり、頻度は月1回開催のものが多い。

次に、後方支援の内容であるが、資料2-2～2-9の各センターの第7期計画施策（全センター共通）にある、事業1～6に限定せず、先ほど述べた、11会議体で果たす役割や、各センターから日々寄せられる困難事例等に関する相談に対し、助言や情報提供等を行うことが後方支援であるのご理解いただきたい。

会長：資料2について、2点質問がある。

1点目は、第7期計画施策（全センター共通）の欄の事業について、平成30年度の実績が記載されている資料がない。どのくらいの実績があったか、対比できるとよいと思う。

2点目は、新規の相談についてである。新規相談から介護保険につながるパターンとそうでないものがあるかと思うが、新規の後の流れをわかる範囲で説明していただきたい。

事務局：1点目の御質問についてだが、例年、第3回の運営協議会の時点では、当年度の実績が確定していないため、翌年度の第1回の運営協議会で前年度の事業実績について報告する形をとっていた。また、今回の資料2は、平成31年度の事業計画書であるため、そちらを中心に記載した様式としている。よりわかりやすい資料作りは、今後も検討していく。

2点目の御質問について、新規相談のうちどれだけの件数が介護保険につながったか、という正確な数値等の把握はできていない。

副会長：資料1について教えていただきたい。「3（4）才 認知症疾患医療センターや認知症サポート医との連携について」であるが、墨田区の認知症疾患医療センターはどこになるのか。また、認知症サポート医は何人くらいか。

事務局：東京都が指定する認知症疾患医療センターで、江東区、江戸川区、墨田区の3区を管轄する拠点型は順天堂東京江東高齢者医療センターであり、地域型は区内の中村病院である。また、認知症サポート医として医師会で公表しているのは約24名（平成31年1月現在）である。

（2）平成31年度高齢者支援総合センター委託料内訳（案）について

事務局から、資料3 - 1 ~ 9に基づき説明を行った。

会長：資料3について、介護予防支援費及び介護予防ケアマネジメント費に係る収入について、件数がどのくらいかわからないと委託料が適切か判断しづらいのではないかと。

事務局：件数は記載していないが、介護予防支援費及び介護予防ケアマネジメント費に係る収入については、各センターの実績件数を把握しており、これに基づいて積算した金額を資料3に記載しているので、適正であると認識している。

### (3) 平成30年度墨田区地域ケア会議実施報告について

事務局から、資料4に基づき説明を行った。

会長：墨田区地域ケア会議は、この運営協議会の所掌事項であるため、私と、委員の方数名が出席している。よろしければ出席した感想等をお話しいただきたい。

委員：今回は、高齢者のみまもりをテーマであった。非常に良かったのは、みまもりを行う協力企業の方の取り組みがよくわかったことである。民生委員が期待していた以上に熱心にされていた。協定団体や協力機関名は文書で見えて知ってはいたが、会議の場で、具体的な取り組みを共有でき、地域にいらっしゃる方が、区民でない方も見守りに協力してくださっていることに感謝申し上げたい。

委員：私も同意見である。多くの協定団体、協力機関により、高齢者の見守りネットワークが作られていることがわかり、非常に感銘を受け、頭が下がる思いであった。社会福祉協議会でも小地域福祉活動を推進しており、地域の皆さんによる緩やかな見守りの取り組みを行っているが、こうした活動によっても、高齢者の方が安心して生活していただけるよう尽力していきたい。

会長：資料4にあるとおり、オブザーバー参加として区の複数の課が参加したこと、区として取り組んでいただいているということが大変良かった。支援の基本は入り口のところで発見することであり、この発見において、地域や協定団体、協力機関の力が大変大きい。そして、発見したものを地域包括支援センター経由で区と共有する流れができていると感じた。しかし、今後の課題は、支援を必要としている方の個人情報の取り扱いについてである。対応を検討された方がよい。

委員：墨田区地域ケア会議そのものについて聞きたい。この会議は年何回行われるものか。また、内容については公開されるのか。

事務局：今回が初回開催であり、年1回を予定している。また、本運営協議会は公開会議であるため、資料4「平成30年度墨田区地域ケア会議報告書」の公表により、会議の内容を公表することとなる。

委員：年1回だと議論がなかなか進まないと思うが、いかがか。

事務局：今後、年何回開催するか現状では回答が難しい。各圏域ごとの地域課題は随時報告があるので、その中で何を区の地域ケア会議の課題とすべきか精査し、本運営協議会にも報告しながら、課題に合わせて検討していきたいと考えてい

る。

副会長：今回の会議の目的は、「ネットワーク構築の好事例の共有」とのことだが、共有した事例を今後どのように展開されるのか、お聞かせいただきたい。

事務局：現在行っている事例を継続し、さらに、この事例を使い、他のどういった団体、企業と連携できるかを検討し、ネットワーク構築の推進、強化を図りたい。

(4) ぶんか福祉総合型地域包括支援センターの整備について

事務局から、資料5に基づき説明を行った。

委員：福祉総合型は以前、南部地域にも整備すると伺っていたがどうなったか。

事務局：現在、高齢者福祉総合計画・第7期介護保険事業計画の期間中であり、平成30年度から3年間の中で、福祉総合型地域包括支援センター2か所（八広はなみずき・ぶんか）を整備することとしている。それ以降の整備については未定である。

(5) 平成31年度墨田区地域包括支援センター運営協議会の開催予定（案）について

事務局から、資料6に基づき説明を行った。（質疑応答なし）

以上の質疑応答を経て議題（1）から（5）について承認された。

(6) 連絡事項

事務局

高齢者支援総合センター及び高齢者みまもり相談室業務の停止及び混乱等の防止に向けた取組の現状報告について

東京都リハビリテーション病院 堀田委員

区内関係機関との多職種連携による研修会開催等について

（今後、情報提供していく。）

社会福祉協議会事務局長 栗田委員

社会福祉協議会の法人後見事業について（平成31年度開始。）

以上3点、質疑応答はなし。

6 その他

事務局から、平成31年度第1回は平成31年7月22日（月）午後1時30分から開催することとし、閉会した。